

帝人株式会社 ■ コーポレートコミュニケーション部

●東京本社 〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号 霞が関コモンゲート西館

TEL.03-3506-4055 FAX.03-3506-4150

●大阪本社 〒530-8605 大阪市北区中之島3丁目2番4号 中之島フェスティバルタワーウエスト

TEL.06-6233-3413 FAX.06-6233-5040

●URL <https://www.teijin.co.jp>

2021年 2月2日

未来のクルマ社会に向けてソリューションを提案 豪AEV社と次世代モビリティ向けパーツを共同開発

帝人株式会社

帝人株式会社（本社：大阪市北区、社長：鈴木 純）は、LS-EV（Low Speed Electric Vehicle＝低速EV）の軽量化に向けた開発パートナーであるApplied EV社（本社：オーストラリア ビクトリア州、CEO：Julian Broadbent、以下「AEV社」）と共同で、自動運転への対応が可能な多目的プラットフォーム「Blanc Robot」（ブランク・ロボット）を開発しました。

「Blanc Robot」のトップカバーには、帝人グループで軽量複合材料製品の生産・販売・技術開発を手がけるコンチネンタル・ストラクチャル・プラスチックス（以下「CSP社」）のGF-SMC（*1）が使用されています。

（*1）GF-SMC：Glass Fiber-Sheet Molding Compoundの略。熱硬化性樹脂をガラス繊維に含浸させ、シート状にした成形材料。



[Blanc Robot](#) 映像リンク

1. 背景

（1）近未来のモビリティ像として「CASE」（*2）や「MaaS」（*3）が示される中、環境負荷低減や超高齢化社会への対応を強化すべく、世界各国で自動車の電動化や自動運転化に向けた技術開発が進んでいます。

（*2）CASE：ダイムラーの前CEOであるディーター・ツェツェ氏が、自動車業界が将来の進むべき方向性として2016年に提唱したもので、Connected（つながる）、Autonomous（自動運転）、Shared（共有）、Electric（電動化）の頭文字をとったもの。

（*3）MaaS：Mobility as a Serviceの略で、情報通信技術を活用することによりあらゆる交通手段による移動を1つのサービスとして捉え、シームレスにつなぐ新たな「移動」の概念。

- (2) また、自動車の動力源であるガソリンや電気などの製造過程から完成車の駆動に至るまでの、エネルギー効率を総合的に評価するための世界共通の概念として「Well to Wheel」が掲げられるなど、過去に類を見ない大きな変革期が自動車社会に訪れようとしています。
- (3) こうした中、当社とA E V社は、近未来の社会が求める「Well to Wheel」のゼロ・エミッション・ビークルを実現し、多岐にわたる用途で活用に資する技術基盤を構築するため、2019年より共同開発に取り組んでいます。

2. 「Blanc Robot」について

- (1) このたび開発した「Blanc Robot」は、A E V社が培ってきたセンシング、コネクテッド（通信）などにおける最先端技術を、最適なレベルで組み込み、コンパクトに集約した多目的L S-E V向けのプラットフォームです。
- (2) トップカバーにはC S P社の軽量・高強度・高剛性なG F-SMCを用いており、これまでA E V社が開発してきた多目的L S-E V向けプラットフォームのアルミ製トップカバーに比べ、約20%程度の軽量かつ約4 m²の広面積を実現しました。
- (3) C S P社独自のG F-SMC成形技術を活用したトップカバーは、金属では成形が困難な薄肉かつ複雑な形状を約3分で一体成形しており、これにより容易にシール性を確保できるため、限られたスペースに内蔵した自動走行に必要な機能を水や熱から保護できる他、耐火性、寸法安定性、耐腐食性にも優れています。
- (4) 「Blanc Robot」は、バッテリー、モーター、ブレーキや、走行を管理する電子制御ユニットなどの機能が内蔵されており、用途に合わせた車体を搭載して自動走行することを可能としました。

3. 今後の展開

- (1) 両社は、2022年後半にも「Blanc Robot」を使用したE Vの実用化を目指します。運送・工業・医療・一般交通など幅広い用途での活用を想定し、「Blanc Robot」ならびに車体設計や走行技術の向上を図っていきます。
- (2) 当社は、A E V社との共同開発を継続することにより、近未来のモビリティへのニーズを先取りし、自社の高機能素材や設計、デザイン、複合化技術、および部品によるソリューション提案力を強化していきます。
- (3) 「環境価値ソリューション」を重点領域として掲げる当社は、今後、人々や社会が抱える課題の解決に取り組むスタートアップ企業の支援を一層強化し、持続可能な循環型社会の実現に貢献するソリューションを提供することで、長期ビジョンである「未来の社会を支える会社」となることを目指していきます。

以上

【 当件に関するお問合せ先 】

帝人株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL: (03) 3506-4055